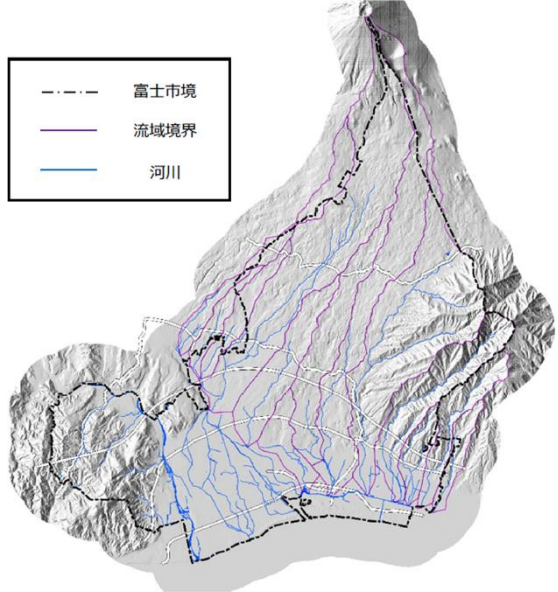


【新規】「第三次富士市環境基本計画」の一部の概要

計画名	第三次富士市環境基本計画の一部（R3.3策定）		
提出機関名	富士市	対象地域	富士市全域
メイン課題	水源かん養、地下水、生態系保全		
計画概要	水質の監視・改善や地下水の維持・保全により「いきものと深くつながりめぐみあふれるまち」、適正な土地利用により「富士・愛鷹山麓からの恵みを大切にするまち」などを目指しつつ、2030年に富士市版「地域循環共生圏」である「ふじ・水循環共生圏2030」を目指す。		
計画の特徴	「富士山の恵み」により発展を遂げつつ、公害問題にも取り組み、克服してきた富士市では、長期的な目標として2050年度の望ましい環境像を「富士山の恵みを、みんなで守り、育て、ともに生きるまち」として、「ふじ・水循環共生圏2030」に取り組む。		



計画対象地域
(富士市全域)

【実施体制】		富士市（計画策定主体）	
地方公共団体	都道府県	-	○計画体系 望ましい環境像(2050) 富士山の恵みを、みんなで守り、育て、ともに生きるまち 目指す将来像(2030)
	政令指定都市	-	
	市区町村	○	
	国の地方支分部局	○	
	有識者	○	
事業者	○	具体的な環境施策	
団体（NPOなど）	○		
住民	○		
その他（ ）	-	2030 2030	

基本目標

- いきものと深くつながりめぐみあふれるまち
- 気候変動に対応し脱炭素を目指すまち
- 環境負荷の少ない快適に過ごせるまち
- 資源を有効に活用するごみのない美しいまち
- 富士・愛鷹山麓からの恵みを大切にするまち
- 協働の輪を広げ環境を考え行動するまち

個別分野

- 多様な生物について知る
多様な生物や生態系をまもる
生物多様性に配慮した社会をつくる
- 再生可能エネルギーをつかう
脱炭素を目指して行動する
地域環境にやさしいまちをつくる
資源を循環させる
- 空気をきれいにする
きれいな水を大切にする
快適な暮らしを守る
- ごみを減らす
ごみを適正に処理する
美しいまちにする
- 富士・愛鷹山麓の環境を継承する
- 環境を学び広げる
協働の輪を広げる

参考：「ふじ・水循環共生圏2030」のイメージ

○推進体制
市民、事業者、学識者、行政職員などで構成する富士市環境審議会と連携しつつ、市民、事業者、市の協働により推進。

○進行管理
PDCA サイクルの考え方に基づき、個々の施策の進捗状況を点検・評価し、定期的に見直しを図る。